

中央会やまぐち

特集

中央会第66回通常総会を開催
中央会創立65周年記念表彰

Close Up組合 山口県中古自動車販売商工組合

組合TOPICS

景況動向



7

2021
JUL

Vol.759





代表理事

長江雅裕氏

副理事長

大和拓也氏

副理事長

橋本知史氏

Close Up 組合

クローズアップ

山口県中古自動車販売商工組合

〒747-1232 防府市大字台道7082番地の1

TEL 0835-32-0220

FAX 0835-32-0419

URL <http://www.ju-yamaguchi.jp/>

[juyamaguchiweb/top.action](http://www.juyamaguchiweb/top.action)

代表理事 長江 雅裕

オークション管理システムのクラウド化で体制を強化

○中古車オークション会場を運営

当組合は中古自動車販売業を営む事業者が集結し、昭和54年に組織して以来、組合員が在庫車両を持ち寄り売買する中古自動車のセリ市場「オートオークション」を運営しています。時代の流れとともに従来の「手ざり」から「ポスによるせりシステム」等を順次導入するなど、創意と工夫を繰り返しながら事業活動の見直しを行ってきており、現在では、年間48回程度オークションを開催し、出品台数は1万台を超え、県下最大の流通量を誇っています。



○システムをクラウド化

近年、15年程前から利用していたオークション業務管理システムの老朽化が目立ってきており、さらには新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりオークション会場の感染リスクを抑制する必要が出てきました。そこで、全国中央会及び県の補助事業を活用し、令和3年2月にクラウド型オークション管理システム（クラウド型業務システム及び車輻撮影システム）に関する設備投資を行いました。組合員に対してはブラウザ上でリアルタイムに情報の確認が可能となったほか、入札者に対しては取り扱い車両の情報公開を詳細化し、車両のルーフやホイール、底面など様々な箇所の内装

を含めた画像を高画質で掲載できるようになり、「わざわざ会場に出向かなくても自店に居ながら現車会場のオークションに参加できる」と好評です。コロナ対策の観点からも、オークション会場の3密状態の解消を図ることができました。なお、一部の方からはオークション会場に出向いて自分の目で見て決めたいとの声があるため、安全にオークションに参加して頂けるよう会場の感染症対策を徹底してまいります。



○時代の流れにマッチした経営を目指す

近年ネットを活用した個人間売買が活況を呈してきていることや若年層の「クルマ離れ」、高齢化による免許返納など中古市場は厳しい状況下にあります。さらに新型コロナウイルス感染症拡大など経営環境は激化していますが、クラウドシステムの導入により、組合員だけでなく全国からのインターネットオークション参加者を増加させることで成約率を高めて収益性の向上を図っていきます。これによりオークションの魅力を高めて組合員からの出品車両の増加を図るという好循環も期待できます。これからも、時代の流れに柔軟に対応できる組合となれるよう、組織の強化を図ってまいります。

年	月	日	日	日	日
2021年	4月	6日	13日	20日	27日
	5月	11日	18日	25日	
	6月	1日	8日	15日	22日
	7月	6日	13日	20日	27日
	8月	3日	10日	17日	24日
2022年	1月	11日	18日	25日	
	2月	1日	8日	15日	22日
	3月	1日	8日	15日	22日
	4月	6日	13日	20日	27日
	5月	11日	18日	25日	

中小企業組合等の経営の強靱化に向けて取り組み、『元気で頼りになる中央会』を目指して

中央会第66回通常総会、創立65周年記念表彰を開催

6月18日、山口市湯田温泉「ホテルニュータナカ」において、中央会第66回通常総会を開催しました。

当日は、新型コロナウイルス感染予防の観点から、全議案書面議決方式で実施し、会員331名から議決書をいただき、会長及び役員の出席にて審議しました。その結果、令和2年度決算関係書類及び令和3年度事業計画・収支予算案の承認など上程5議案が原案どおり承認されました。

また合わせて、中央会創立65周年の記念表彰を規模縮小した上で実施しました。

開会にあたり、和田会長より「本日の通常総会は、本来であれば、創立65周年を迎え盛大に開催する予定であったが、「新型コロナウイルス感染防止集中対策期間」中ということで、大変残念ではあるが、昨年に引き続き、規模を縮小して開催させていただいた。中央会に求め



会長挨拶（和田会長）

られる役割がさらに大きくなる中、新たな中期行動計画『アクションプラン2021』を策定し、これに基づいて、会員組合等の経営の強靱化に向けた取り組みを展開していく。役員の皆様と職員が一丸となって、『元気で、頼りになる中央会』としての役割をしっかりと果たして参らなければならない。』旨の挨拶がありました。

また、村岡山口県知事及び柳居山口県議会議長より、県内唯一の中小企業連携組織支援機関としての期待と激励のメッセージをいただき、坂本専務理事が代読しました。

続いて、山口県中小企業団体中央会の創立65周年の記念表彰に移り、中小企業組合の組織化や中小企業の



創立65周年記念表彰の様子

発展・振興に寄与された優良組合・組合青年部をはじめ、組合の発展に功績のあった功労者及び優良役職員の表彰を行いました。

防府流通センター協同組合の喜多村理事長をはじめ、「山口県知事表彰」の受賞組合の方10名及び「中央会会長表彰」各部門の受賞者を代表して4名の方に、表彰状が授与されました。また、当日お越しいただけなかった受賞者の方々に向けて、インターネットを活用したライブ配信を実施し、表彰の様子をご覧いただきました。

引き続き、総会議事に入り、議長に山田義裕中央会副会長（宇部鉄工業協同組合理事長）を選任し、書面議決の内容の報告を受けての審議の結果、議案として上程された5議案が原案どおり承認されました。



議長（山田副会長）

山口県知事表彰

優良組合 10組合

防府流通センター協同組合	アップライト協同組合
企業組合うずしお母さんの店	ツルガハマ商業協同組合
協同組合山九ハイウェイセンター	宇部市土木建設協同組合
吉南物流協同組合	ユー・アイ・ケイ協同組合
協同組合下関造園クラブ	長門建設業協同組合



山口県知事表彰
(防府流通センター協同組合)

山口県中小企業団体中央会会長表彰

優良組合 24組合

企業組合みんと村	企業組合岩国尾津っこ
企業組合ふのたに手づくり工房	山口県コンクリート製品協同組合
協同組合柳井物流センター	ひらお特産品センター協同組合
企業組合工房H a H a	ライフスタイル協同組合
山口ビジネススキルアップ協同組合	防府リサイクル協同組合
とくち健康茶企業組合	山口県商店街振興組合連合会
協同組合維新	美祢LPガス事業協同組合
美祢環境開発協同組合	宇部地区環境整備事業協同組合
山口土建協同組合	宇部資源リサイクル協同組合
企業組合うつつ工房	下関旅館ホテル協同組合
下関唐戸魚市場仲卸協同組合	唐戸市場業者連合協同組合
企業組合むつみ・キッチンばあーば	企業組合あぶホームメイド



山口県中小企業団体中央会会長表彰
(企業組合みんと村)

組合功労者 12名

城 英 明 (山口県電気工事工業組合)	藤 田 信 雄 (岩国市中通商店街振興組合)
竹 本 信一郎 (錦川流域木材協同組合)	西 海 俊 夫 (協同組合柳井総合卸センター)
河 村 久美子 (企業組合小行司健康グループ)	山 崎 秀 樹 (あおぞら協同組合)
田 坂 利 成 (山口県電器商業組合)	長 尾 誠 (山口県流通センター卸事業協同組合)
静 間 孝 子 (ビューティーアシスト協同組合)	西 嶋 徹 也 (山口県板金工業組合)
久 保 吉 史 (萩市田町商店街振興組合連合会)	山 根 勝 美 (萩市水道事業企業組合)

優良青年部 3青年部

山口県環境整備事業協同組合青年部 山口県中古自動車販売商工組合青年部
長門市土木協同組合十五日会

優良役職員 15名

清 澄 邦 夫 (防府鉄工業協同組合)	原 田 真由美 (岩国駅前本通商店街振興組合)
中 重 みゆき (岩国生コンクリート協同組合)	中 本 敦 子 (企業組合うずしお母さんの店)
玉 林 洋 子 (上関町建設業協同組合)	久 保 満 枝 (協同組合田布施地域交流館)
梅 田 幸 江 (周南市管工事協同組合)	波 多 博 (山口県電器商業組合)
岡 村 美 幸 (山口県電気工事工業組合)	吉 岡 永 裕 (みどりの風協同組合)
笠 井 美知子 (山口県板金工業組合)	竹 田 よしえ (下関市土木建築協同組合)
秦 野 悦 子 (下関唐戸魚市場仲卸協同組合)	中 屋 義 正 (萩市田町商店街振興組合連合会)
福 田 利 香 (山口県北西部生コンクリート協同組合)	

事業再構築補助金及びものづくり補助金活用セミナーを開催

山口県中小企業団体中央会

本会では、5月26日(水)に補助金活用オンラインセミナーを開催しました。

事業再構築補助金は、経済産業省中国経済産業局中小企業課課長補佐の正岡英治氏、ものづくり補助金は当会ものづくり支援室チーフコーディネーターの青木由起夫が担当しました。

「事業再構築補助金」については、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、当面の需要や売上げの回復が期待しづらい中、経済社会の変化に対応するために中小企業等の事業再構築を支援するものとなっており、積極的な活用を勧められました。

「ものづくり補助金」については、2022年度末まで公募されているものであり、今後複数年にわたり相次いで直面する制度変更（働き方改革や被用者保険の適用拡大、賃上げ、インボイス導入等）等に対応するため、中小企業・小規模事業者等が取り組む革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等を支援するものとなっており、申請も従来より大幅に簡略化されているので、申請を検討される場合は是非一度相談するように勧められました。

会員の皆様にも積極的にこれらの補助金を活用していただければと思います。（連携支援第一課 松村）



1. 事業再構築補助金

新分野展開、業態転換、事業・業種転換、事業再編又はこれらの取組を通じた規模の拡大等、思い切った事業再構築に意欲を有する、以下の要件をすべて満たす中小企業等の挑戦を支援します！

対 象

- 2020年10月以降の連続する6か月間のうち、任意の3か月の合計売上高が、コロナ以前（2019年又は2020年1～3月）の同3か月の合計売上高と比較して10%以上減少している。
- 事業計画を認定経営革新等支援機関や金融機関と策定し、一体となって事業再構築に取り組む。
- 補助事業終了後3～5年で付加価値額の年率平均3.0%（一部5.0%）以上増加、又は従業員一人当たり付加価値額の年率平均3.0%（一部5.0%）以上増加の達成。

中小企業

通常枠 補助額 100万円～6,000万円 補助率 2/3
卒業枠* 補助額 6,000万円超～1億円 補助率 2/3

*卒業枠：400社限定。事業計画期間内に、①組織再編、②新規設備投資、③グローバル展開のいずれかにより、資本金又は従業員を増やし、中小企業者等から中堅・大企業等へ成長する事業者向けの特別枠。

※中小企業の範囲は、中小企業基本法と同様。

緊急事態宣言特別枠

上記1.～3.の要件を満たし、かつ緊急事態宣言に伴う飲食店の時短営業や不要不急の外出・移動の自粛等により影響を受けたことにより、令和3年1～6月のいずれかの月の売上高が対前年または前々年の同月比で30%以上減少していること。

補助額 従業員数5人以下：100万円～500万円 補助率 中小企業3/4
従業員数6～20人：100万円～1,000万円 中堅企業2/3
従業員数21人以上：100万円～1,500万円

●今後の公募予定

令和3年度中に、さらに3回程度実施する予定。（第2回公募は7月2日締切）

●公式ホームページ

<https://jigyousaikouchiku.jp/>



●お問い合わせ先

事業再構築補助金コールセンター
電話：0570-012-0882

2. ものづくり補助金

中小企業等による生産性向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資を支援します。

対 象

以下の要件を満たす事業計画（3～5年）を策定・実施する中小企業等※なら、どなたでもご応募いただけます。

1. 付加価値額 **+3%以上**/年
2. 給与支給額 **+1.5%以上**/年
3. 事業場内最低賃金 地域別最低賃金**+30円**

※業種によって定義が異なりますが、**製造業の場合は、資本金3億円以下または従業員300人以下の企業**を指します。

また、革新性や事業性などの審査がございます。年によって異なりますが、**例年は2～3倍程度の競争率**です。

補助内容

補助金上限1,000万円または3,000万円、補助率1/2（原則）
で新製品・サービス開発や生産プロセス改善等のための設備投資を支援します。

※一般型は補助上限1,000万円、グローバル展開型は補助上限3,000万円

また、対人接触機会の減少に資する、製品開発、サービス開発、生産プロセスの改善に必要な設備投資、システム構築等を支援します。

補助率2/3（低感染リスク型ビジネス枠）

●申請締め切り

直近締切 2021年8月17日 ※その後も約3ヶ月毎に締切が設定される予定

●公式ホームページ

<https://portal.monodukuri-hojo.jp/index.html>



●お問い合わせ先

山口県中小企業団体中央会
ものづくり支援室 電話：083-902-2580

山口県金融経済懇談会が開催される

鈴木人司日銀審議委員と県内の行政、経済、金融界トップ8人の山口県金融経済懇談会が、去る5月26日、オンライン形式で開催され、本会からは坂本専務理事が出席し、意見交換を行いました。

懇談の場では、鈴木審議委員より、「わが国の経済・物価情勢と金融政策」をテーマに、最近の経済・物価情勢、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえた対応、より効果的で持続的な緩和など金融政策運営全般について説明され、山口県経済の一層の発展を期待されるとともに、日本銀行としても山口県経済の発展に貢献したいと話されました。

意見交換では、出席者より、地域の金融経済や金融政策に係る意見、要望が出されました。その中で、坂本



オンライン懇談会の模様 ～鈴木審議委員と関係機関出席者～（写真提供：日本銀行）

専務理事は、毎月、行っている傘下組合員企業の景況調査（売上高、資金繰りなど）を基に、厳しい状況が続いている組合員企業の状況や国等に対する支援の強化等について話しました。

具体的には、実質無利子・無担保融資等の金融支援策について返済に対する更なる支援を求めるとともに、コロナ禍では、今を乗り越えるためのスピード感ある拡充的支援を、コロナ終息後は、本当の意味でのV字回復に繋がるための継続的且つ力強い支援策を希望したいと意見・要望しました。

「田布施川桜フォトコンテスト」開催

協同組合田布施地域交流館

この度、協同組合田布施地域交流館で「田布施川桜フォトコンテスト」が開催されました。

毎年桜の時期には多くの人で賑わう田布施川ですが、昨年からの新型コロナウイルスで外出自粛されている方が多い中、満開の桜を楽しんでいただける取組として企画されました。

最優秀賞は、岩国市 橋本氏の「春を告げる田布施川のさくら街道」という作品で、ホームページにも掲載されています。来年の桜の時期には田布施川で桜が楽しめるように新型コロナウイルス感染症が収束していると良いですね。

ホームページURL: <https://tabuse.biz/2021photocontest/>



(連携支援第一課 松村)



酒米の田植えイベントを開催

萩酒米みがき協同組合

5月21日(金)、第4回目となる酒米の田植えイベントが、阿武町の農事組合法人木与なぎさファームのほ場で行われました。

当組合では、酒米生産者と酒造会社の相互理解及び消費者（萩の酒ファン）との交流を目的に毎年イベント



を開催していますが、新型コロナウイルス感染防止のため、昨年に引き続き消費者の参加は取りやめ、酒造会社6社、役員など関係者12名で実施しました。木与なぎさファームの山田錦作付け面積100aのうち1543㎡のほ場で、手植えで苗を丁寧に植えていきました。

生産した山田錦は、酒造会社が持ち回りで醸造し、オリジナル吟醸酒「萩みがき6（シックス）」として限定販売しています。今年は、阿武町の阿武の鶴酒造が醸造を担当し、来年3月には新酒の販売を予定しています。

(連携支援第一課 竹中)

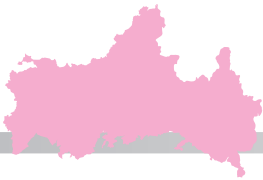
コンディショニング講座を開催

SRリラクゼーションセラピスト協同組合

6月12日(土)、山口市小郡にて「コンディショニング講座」を開催しました。日常動作の癖により、「使いすぎ」の筋肉と「使わない」筋肉が生まれ、バランスが崩れて身体が歪む原因となります。コンディショニングとは、筋肉を整えることによって筋肉のアンバランスを解消し、肩こり等の不調が解消することです。講師のプロフェッショナルコンディショニングトレーナー岡田義之氏から、リセットコンディショニングとアクティブコンディショニングの2つの方法で良い調子に導く方法について実技により学びました。組合では、今後もさまざまな講座を通じてセラピスト養成講座の普及に努めていくこととしています。

(管理・企画課 平田)





月次景況調査結果

令和3年5月期

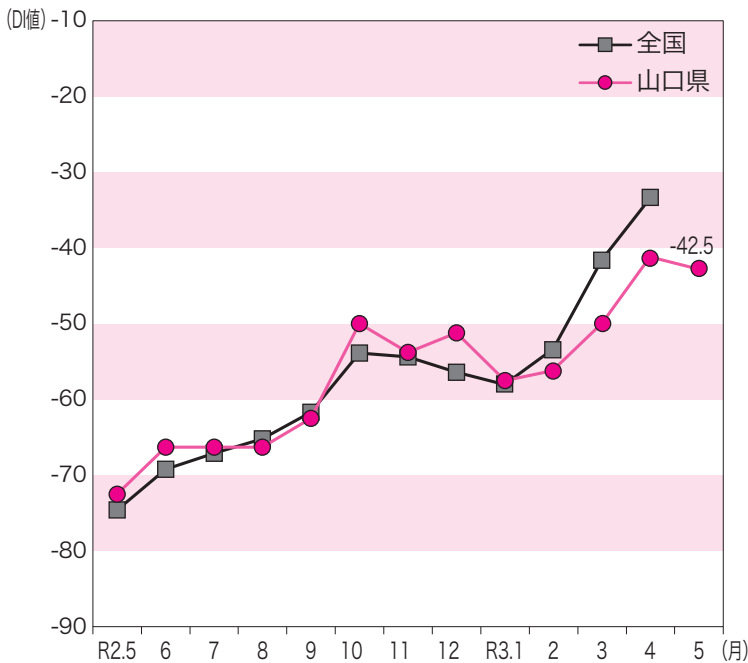
景況DI値は、先月まで3ヶ月連続して好転し景気回復感があったものの、5月期は、県内においても新型コロナウイルス感染症が再拡大したことにより、人の動きが止まり、足踏みの状態となった。

コロナ禍において景況DI値が最低であった昨年5月期に比べれば、多くの業種において売上等は増加しているものの、一昨年水準には到底及ばず、資本力が乏しく後継者が不在の事業者の中には、廃業を検討する者もある。

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、ワクチン接種拡大の効果に期待を寄せながらも、未だ先行きの見通せない状況に不安感が増している。

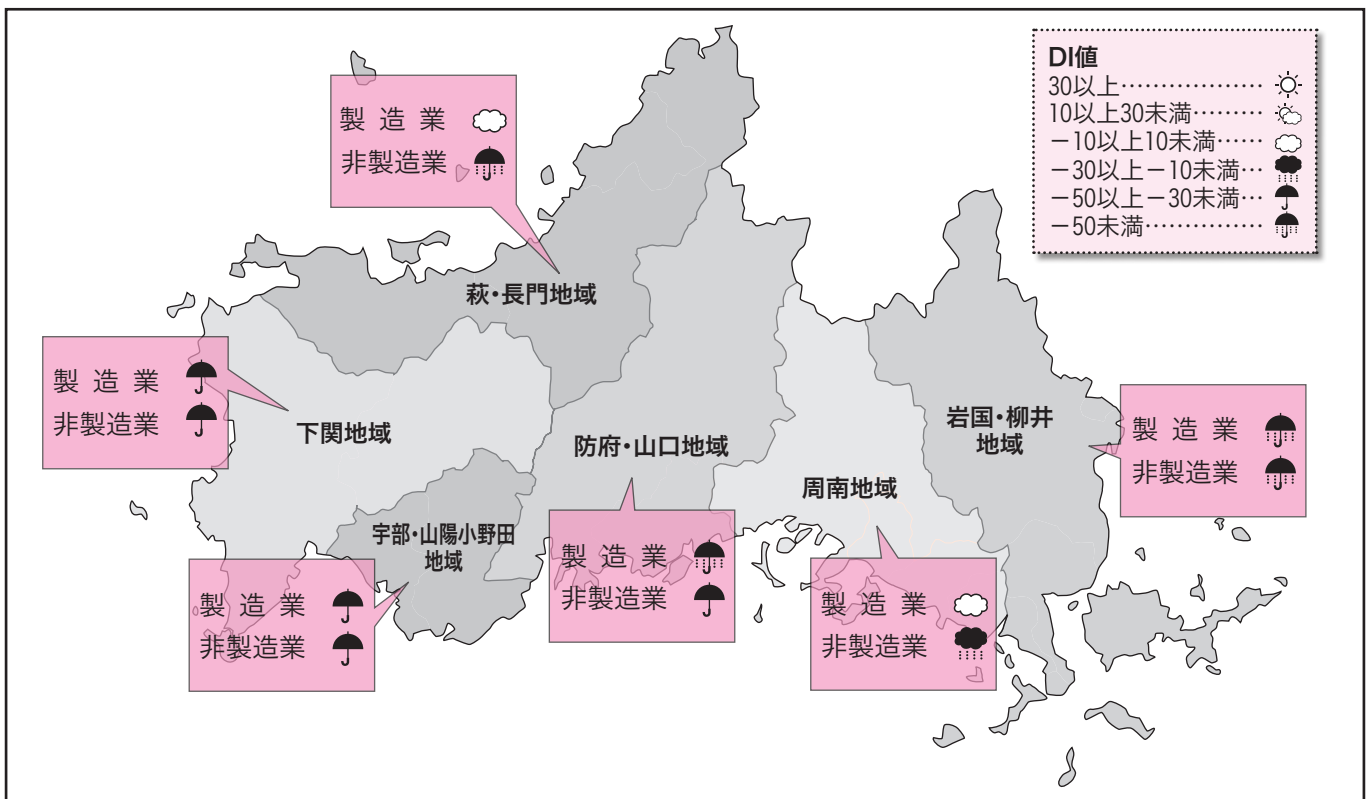
※DI値(前年同月比) = 増加・好転組合割合 - 減少・悪化組合割合

業界の景況DI値の推移 - 全国平均との比較 -



業種別の景況

	業種	前年同月比	前月比
製造業	食料品	☔	↗
	繊維工業	☁	→
	木材・木製品	☔	→
	印刷	☔	→
	窯業・土石製品	☔	↗
	一般機器	☔	↗
	輸送機器	☁	→
非製造業	卸売業	☔	→
	小売業	☔	↘
	商店街	☔	→
	サービス業	☔	↗
	建設業	☔	↘
	運輸業	☔	↘
	その他	☁	→



地区・業種を代表する県内組合の役職員の方から、毎月、業界の景気動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

また、中央会ホームページ (<http://axis.or.jp/>) の「月次景況調査」にも掲載していますのでご活用下さい。

製	食料品	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 売上は対前年同月比では80%以上増加しているが、対前々年同月比では新型コロナウイルスの影響で10%減少している。(パン・菓子製造業) ○ コロナ禍には慣れたが、首都圏他の業況が更に複雑になり売上も減少傾向。資本の少ない企業は継続が危ぶまれる。ワクチン効果に期待を寄せる。(水産食料品製造業)
	繊維工業	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ禍、中国人、ベトナム人技能実習生の入国許可が下りたが、隔離等を考慮すると入国は依然として困難な状況であることに変わらない。(下着類製造業) ○ ロットは小さいが、生産計画は4ヶ月先まで決まっている。(外衣・シャツ製造業)
	木材・木製品	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 木材(米松)の価格が日割りで上昇し注文しても入荷が未定。仕事は順調だが、建材の価格も上昇しており、いつ改善されるか不安。(製材業・木製品製造業 岩国市) ○ 「ウッドショック」で、地域材(杉、ヒノキ)が対前年同月比で2~3割増しで推移しているが、コロナ前の売上には至っていない。(製材業・木製品製造業 下関市)
	印刷	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 受注量そのものは前年とあまり変わらない状況だが、例年に比較すれば大幅に減少している。オリンピックが中止されると、印刷業界への影響は大と予想される。
業	窯業・土石製品	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 例年よりも早い梅雨入りで仕事に影響が出ている。(石工品製造業) ○ Web 萩焼祭りとネット販売を実施。小売店の売上は前年同月比200~500%と営業自粛の前年より大きくアップ。都市の百貨店や小売店への卸販売は、緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置の下、大きく落ち込んだ。(陶磁器・同関連製造業)
	一般機器	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大手自動車メーカー関連は材料の高騰により収益が悪化。自動車金型関係は順調。建設業関係はピールの消費減少で、大手工場の定期メンテナンスが受注難。(防府市) ○ 外国人技能実習生は特定技能への切替えにより都市部の企業への転籍、また、若干ではあるが帰国者も出てきており、各企業とも人員の確保に苦慮している。(宇部市)
	輸送機器	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鉄道車両関係は新車両生産の予定はあるが、世界的なコロナ禍の状況で受注減少も見込まれる。半導体は上期後半から下期にかけて最大規模の作業量が見込まれる。早期のワクチン接種と新型コロナウイルスの終息を願う。(鉄道車両・同部品製造業)
非	卸売業	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルスの影響が長引き、外食関連の肉や海産物(かき)の入庫が減少し、倉庫売上は、前年比やや落ち込んだが、前々年比は同等程度。(乾物卸売業) ○ 後継者不在や長引くコロナウイルスの影響により「ふく」生産者が減少。今年の「ふく」シーズンはかなり苦しい状況になると予想している。(生鮮・魚介卸売業)
	小売業	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前年はコロナの影響でGWを臨時休館したので、今年5月の売上は、対前年同月比で2倍以上だが、例年と比べると25%程度のマイナス。(各種商品小売業 萩市) ○ 対前年同月比の売上は86.6%、来店者数88.3%。感染者数増加で外出自粛が増えているが、市の地域振興券で購買意欲が増していると思う。(各種商品小売業 下関市)
	商店街	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 5月の売上は4月に比べ20%位減少。特に飲食関係が厳しく、収入も半減。また、後半になると商店街の来街者が大きく減少し、人通りがない。(萩市) ○ 当地区も新型コロナウイルスの感染が広まり、食料品関係は持ち直しているが、来街者数が激減している。今年度夏のイベントも殆どが中止となっている状況である。(下関市)
	サービス業	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 5月中旬ごろから、自粛ムード等により低迷の状況。(理容業) ○ 昭和40年代に起業の70~80歳の組合員は後継者がなく、急速な自動車の進歩についていけず、廃業に至るところがポツリポツリと出てきている。(自動車整備業) ○ 緊急事態宣言が延長されたため、4月と比べ状況は悪化している。前年5月よりも悪化しており、前々年5月の僅か1.4%の売上である。(旅行業) ○ 前年同月比では、売上373.8%、宿泊人員407.2%だが、コロナの影響のなかった前々年5月と比べると、売上44%、宿泊人員47.5%と非常に厳しい状況。(旅館業)
	建設業	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 工事量の少ない状態だが、数ヶ月先の受注が見込まれるようになった。(左官業) ○ 土木建設業界では、地域内においても、自治体間で発注の度合いが異なり、町庁舎の建設工事のみの町もある状況。(一般土木工事業) ○ 同業者の手伝い等の小規模な仕事で量を確保している。大型な仕事は計画見積りで受注に結びつかない。材料の値上げ等先行きに不安を感じている。(鉄骨・鉄筋工事業)
	運輸業	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 輸送取扱高は対前年比30%程度増加の見通し。前年比では増加だが、前年は車部品供給の停滞等により、例年の50%以下の状況にあった。(一般貨物自動車運送業) ○ タクシーチケット取扱金額は前年4月が極端に減少したため、少し回復したように見えるが、前々年度比では▲50%の状態であり、ほとんどのタクシー事業者は欠損。資本金や後継者が難しい者は廃業を検討している。(一般旅客自動車運送業)
業	その他	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルスの影響で、外国人技能実習生の入国待ちの状況が続いているが、さらに延長の可能性がある。しかし、顧客は増加傾向にある。(介護事業)

『中小企業組合検定試験』に **チャレンジ!!**

「中小企業組合士」ってなに？「中小企業組合検定試験」とは？

中小企業組合の事務局で働いている役職員の方が職務を遂行する上で必要な知識に関する試験を行い、試験合格者の中から一定の実務経験を持つ方に、中小企業組合士の称号を与える制度です。いま、中小企業組合には、ガバナンスの充実が求められており、広く社会の信頼を高め、社会的責任を果たすには、組合運営の経験と専門知識を備えた人材が必要です。組合の業務を執行する役員、実務を担う職員の方々すべてに挑戦していただきたい資格です。令和2年度に実施された問題を抜粋し掲載しますので、あなたのチャレンジをお待ちしています！

組合制度問題

次の文章は、中小企業組合について述べたものである。各設問中の□A□及び□B□に入る適切な組み合わせを選択肢①～③の中から選びなさい。

(設問1)

役員は、必要常置の機関であり、常に定款に定めた定数を充足すべきであるが、欠員が生ずることもある。この場合、組合運営上は早急に補充することが望ましいが、法律は、役員□A□を超える欠員が生じた場合に、□B□の補充義務を規定している。

- ① A 4分の1 B 2ヶ月以内 ② A 2分の1 B 2ヶ月以内
③ A 3分の1 B 3ヶ月以内

(設問2)

組合は、□A□に定めれば、理事会決議の目的事項の提案に対して、□B□が書面又は電磁的記録により同意した場合には、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなすことができる。

- ① A 定款 B 理事全員 ② A 定款 B 理事の過半数
③ A 規約 B 理事の過半数

(設問3)

□A□とは、理事が自己又は第三者のために組合と契約することをいう。この場合、重要な事実を開示して□B□を受けなければならない。理事がその地位を利用して組合に不利な取引により損害を与えることを防止するための規定である。

- ① A 自己契約 B 理事長の承認 ② A 自己契約 B 理事会の承認
③ A 代理契約 B 総会の承認

(設問4)

組合の議決事項には法律の定めによる法定議決事項と、定款の規定による任意議決事項とがある。法廷議決事項には□A□等のような出席者の過半数で決する普通議決事項と□B□等の重要事項を3分の2以上で決する特別議決事項とがある。

- ① A 決算関係書類の承認 B 組合員の除名 ② A 定款変更 B 組合の解散
③ A 組合員の除名 B 借入金残高の最高限度

(設問5)

「経費の分担に関する規定」は定款の□A□必要記載事項であるから、□B□を徴収しない組合であっても定款に規定しなければいけない。

- ① A 絶対的 B 賦課金 ② A 相対的 B 出資金
③ A 相対的 B 手数料

中小企業組合検定試験概要

試験科目 組合会計 組合制度 組合運営 *テキストあり
(一部の科目について合格した場合は、その後3年間はその科目の受験が免除されます。)

試験日 令和3年12月5日(日)

受験料 3科目受験：6,600円 2科目受験：5,500円 1科目受験：4,400円

願書受付期間 令和3年9月初旬～10月中旬(予定)

問い合わせ先 山口県中小企業団体中央会 連携支援第二課 洗川・吉村 ☎ 083-922-2606

解答

設問1：③

設問2：①

設問3：②

設問4：①

設問5：①

(出典：令和2年度中小企業検定試験問題 組合制度)

職員コラム

変わり者事情

こんにちは、連携支援第一課の松村です。山口市在住34歳です。中央会内ではなぜか「変わり者」だと思われていると思うので、「変わり者」を演じています。

組合の担当地区は岩国市・玖珂郡・柳井市・大島郡・熊毛郡・光市となっており、担当事業は、ものづくり補助金・DX事業・RPA事業・経営革新計画等作成支援事業です。

趣味は、情報と接することと色々と考えを巡らせることです。好んで接しているのはITや経営・哲学関係の情報です。普段テレビはほとんど見ないのですが、最近「YouTube」をよく見ている。「YouTube」には、「検閲」があまり働かないので、色々な尖った情報と接することが出来る点がお気に入りです。

最近印象に残ったのは、「デジタルトランスフォーメーションの加速に向けた研究会WG1 全体報告書」に記載してある「デジタルディスラプター」という概念です。現在、デジタル空間で流れる膨大なデータを取得し、活用することで、新たな価値を創出が重要となっており、利益を生む源泉がデジタル空間へと変わってきています。そこに、クラウドやビッグデータ、IoT、AIなどのデジタルテクノロジーを活用することにより、既存の業界の秩序やビジネスモデルを破壊するプレイヤーが出てきており、このようなプレイヤーのことを「デジタルディスラプター」と呼ぶみたいです。

私もいつかこんなプレイヤーになりたいなと妄想する今日この頃です。



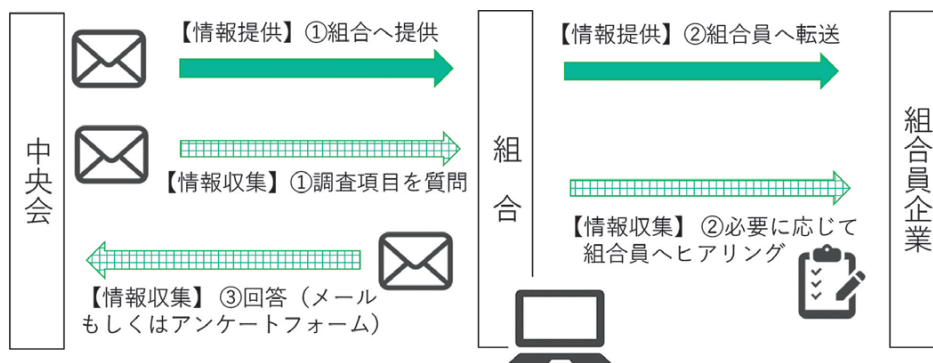
連携支援第一課
松村 昌典



中央会メールネットワークを構築します！

本会では、中央会と会員間の情報収集・情報提供を強化し、『繋がる身近な中央会を目指す』ことを目的に、会員組合を対象としたメールネットワークを令和3年7月1日より構築します。

◆イメージ図



◆想定する配信内容

- ・ 定期的なメールマガジンを配信
- ・ 会員の皆様に急ぎ周知したい事項を随時配信（コロナ関係等）
- ・ 国や県等の施策情報の提供
- ・ 国・県等への要望事項の照会
- ・ 各種調査やアンケートの実施
- ・ 事業のニーズや実施意向の把握

◆メールネットワークへの登録

6月号会報同封の「組合メールアドレスご提供のお願い」文書にてご提供頂いた組合アドレスに配信します。まだご提供頂けていない組合におかれましては、提供日以降の配信から随時開始させていただきますので、積極的なご提供をお願いいたします。



私のおすすめ紹介します!

ライフスタイル協同組合

理事 大田 奈美子さん

のおすすめ

お菓子司 伝助

私のおすすめは、近所にあるお菓子屋「伝助」です。法事やお寺さんへのお土産、家族で集まる時などに、よく利用しています。

和菓子、洋菓子問わずいろいろなお菓子があるので、お年寄りから子供まで年代を選ばず楽しめるところと、こういった詰め合わせを作ってほしいといった要望を柔軟に聞いていただけるところがおすすめのポイントで、奥様が気さくで素敵な方なのも魅力の一つです。

特にお気に入りのお菓子は、山陽小野田を代表する銘菓「せめんだる」です。このお菓子は、昭和27年より製造されており、当時、セメントは樽に詰めて出荷されていたことより、最中を樽に、セメントを餡に見立てているそうです。餡がたっぷり入っていてとってもおいしいです!

お近くに行かれた際はぜひ行ってみてくださいね!



小野田銘菓 せめندانる



お菓子司 伝助

住所: 山陽小野田市西高泊676-3

電話番号: 0836-83-9060

営業時間: AM9:00~PM6:30

定休日: 水曜日

第73回 中小企業団体全国大会のご案内

日時 令和3年11月25日(木) 14:00~16:30

場所 パシフィコ横浜国立大ホール
(神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1)

参加料 1人 6,000円

主催 全国中小企業団体中央会 神奈川県中小企業団体中央会

お問い合わせ先 山口県中小企業団体中央会 管理・企画課
(担当: 田中)
☎ 083-922-2606

皆様のご参加をお待ちしております。

